

研究課題名	乳がん患者におけるドキシソルピシンの過敏症発現に投与方法が及ぼす影響の検討
研究の意義・目的	<p>がん治療で使用されるドキシソルピシンは、使用時に過敏症状が出る場合があります。過敏症状を最小限にすることが、治療を継続するうえで重要です。</p> <p>当院、乳腺外科では使用するドキシソルピシンの投与方法を2023年5月に変更しました。投与方法を変更したことにより、過敏症状発現に影響があるのかを調査します。投与方法と過敏症発現の関連性を明らかにすることは、安全な医療の提供につながると考えます。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2029年2月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2022年8月～2024年1月に大阪公立大学医学部附属病院の乳腺外科に、ドキシソルピシンを使用した治療を実施するため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 患者基本情報：年齢、性別、診断名、アレルギー歴、使用レジメン（薬剤名、抗がん剤投与量、希釈濃度、投与時間） ▪ 身体所見：身長、体重 ▪ 血液検査：白血球数、赤血球数、血小板数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、アルブミン(BCP)、総ビリルビン、AST、ALT、eGFR、クレアチニン、尿素窒素、ALP(IFCC)、LD(IFCC)、γ-GT、好酸球数比率（機械値）、好塩基球数比率（機械値）、単球数比率（機械値）、好中球数比率（機械値）、リンパ球数比率（機械値） ▪ 過敏症状のカルテ記載
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名(提供元について)	<p>機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学</p> <p>機関の長の氏名：理事長 福島伸一</p>
提供する試料・情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者	研究責任者：大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部 中村 瑠里
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院薬剤部で行います。</p> <p>【研究責任者】 薬剤部 中村 瑠里</p>
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対

<p>したくない場合</p>	<p>象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
<p>連絡先</p>	<p>大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部 担当者氏名：中村 瑠里 電話番号：06-6645-3330 メールアドレス：121210s@omu.ac.jp</p>